

書名	聖武天皇		著者名	瀧浪 貞子／著			
出版社	法藏館	ISBN	978-4-8318-2640-4	本体価格	¥1,300	発売	2022/9/9
内容	奈良東大寺の毘盧遮那大仏造立という日本史上に残る大事業を成した聖武天皇は、本当に政治的意志を持たない「ひ弱な天皇」だったのか——。二人の女帝の期待を一身に背負い、天武天皇の血脈を嗣ぐ正統天皇として即位した聖武。その聖武を、強烈な個性と政治力を発揮して数々の事業を推進した「天平の皇帝」として捉え、皇帝たらんとした生き様に迫るとともに、その治世がいかなる時代であったのかを鮮やかに描き出す。長らく誤解のベールに包まれてきた聖武天皇像に、根本から見直しを迫った意欲作。						

書名	マンガでわかる日本仏教13宗派		著者名	監修／石田 一裕			
出版社	誠文堂新光社	ISBN	978-4-416-52283-7	本体価格	¥1,800	発売	2022/9/12
内容	「仏教」とざっくり言ってしまうがちですが、現在、日本の仏教には大きく分けて13の宗派があります。成立の古いものから、法相宗、華嚴宗、律宗、天台宗、真言宗、融通念仏宗、浄土宗、時宗、臨済宗、曹洞宗、黄檗宗、日蓮宗です。これらの宗派はそれぞれ独自の教義をもち、法衣や法具も微妙に違っていたりします。						

書名	なないろ探訪記(3)		著者名	日生 マユ／著			
出版社	講談社	ISBN	978-4-06-529227-3	本体価格	¥660	発売	2022/9/13
内容	絶滅危惧種の淡水魚・ニッポンバラタナゴ(ペタキン)の研究をしていた父の足跡を追って家出した中学生の少女カナは、大学生のレイとの出会いによって、大学の農学部で生き物の繋がりと遺伝といった生物学の話を知る。それまで周りの人たちとうまく接することのできなかったカナは、生命が連綿と繋がっていく理由を教わることによって、自分がここにいる意味を知るようになる。「見つけてくれて、ありがとう」——。亡き父が生まれ育った奈良で生活することになったカナは、若かりし父が悩みながら苦しみながら、しかし、鮮やかにこの土地で息づいていたころの話を知る。						

書名	やまとは恋のまほろば1		著者名	浜谷みお／著			
出版社	文藝春秋	ISBN	978-4-16-090121-6	本体価格	¥720	発売	2022/9/13
内容	“古研”の3人にまた会える！『やまとは恋のまほろば 1』が装い新たに登場！2022年6月20日より「文春オンライン」にて待望の新エピソード連載開始。悩める女子ならきっと共感する、古墳×恋愛のキャンパスライフ——。Story大学1年生の穂乃香は、大学デビューした友人に気後れし、疎外感を感じていた。しかし、“心のオアシス”古墳研究会(通称・古研)の同級生・飯田くんのがとあるきっかけで気になりだし、先輩の可児江さんとも急接近！？「さえない」自分を苛む穂乃香は、古研を通じて少しずつ成長していく。古墳がもたらす、不器用でいとおいしい恋の物語。						

書名	埴輪 古代の証言者たち			著者名	若狭 徹／著		
出版社	KADOKAWA	ISBN	978-4-04-400649-5	本体価格	¥1,240	発売	2022/9/21
内容	ぽっかり空いた目と口、短い手足、あどけない表情。心が癒やされる可愛い造形で、博物館でも大人気の埴輪たち。しかし、古墳を彩る人物・道具・家・動物たちの群像として見ると、王権を巡る「さまざまな物語」が浮かび上がってくる。3世紀中頃から6世紀終わり頃まで、およそ350年にわたり造られた埴輪を、定番の名品から最新の出土品まで紹介。造形美、細部の見方、楽しみ方を第一人者が解説する。カラー図版160点掲載。						

書名	100分 de 名著 折口信夫『古代研究』 2022年10月			著者名	上野 誠／著		
出版社	NHK出版	ISBN	978-4-14-223144-7	本体価格	¥545	発売	2022/9/24
内容	古代の生活から、日本人の宗教観、文学、芸能のルーツを探る折口の代表作						

書名	東国の古墳と古代史			著者名	白石太一郎／著		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-07515-2	本体価格	¥2,400	発売	2022/9/26
内容	近畿のヤマト勢力にとって、東国はどのような存在だったのか。西日本と共通する要素を持ちながら、強い独自色を示す東海・関東の古墳からアプローチ。東日本の政治連合の形成、牧と馬の文化など、古代史の謎に迫る。						

書名	人物で学ぶ日本古代史 2			著者名	編集／新古代史の会		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-06875-8	本体価格	¥1,900	発売	2022/9/28
内容	飛鳥の地を離れ、奈良の平城京に都をおいてから80年。律令体制が整えられ、天平文化が華開きながらも政争に明け暮れた時代を人びとはどう生きたのか。聖武天皇や藤原仲麻呂などの政治の中心人物のほか、留学生、地方で躍動した豪族、懸命に働いた女官、下級官人などあまり知られていない人物の魅力を解説。当時の社会を生き生きと描き出す。						